

果樹カメムシ情報第1号

平成28年4月5日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

6月末までの果樹カメムシの飛来数は 平成18年、20年、24年並に「やや多い」

1 平成28年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシ（図1）の越冬成虫密度調査を県内15地点で行った結果、平均越冬成虫密度は0.9頭/m²（過去10年の平均値1.1頭/m²）、越冬成虫の確認地点割合は67%（過去10年の平均値46%）で（表）、ウメ、モモ、ナシなどで被害が多発した平成22年、26年ほど多くはありませんが、越冬世代成虫が連続的にほ場へ飛来し被害が発生した平成18年、20年、24年並に多い状況でした。

2 越冬成虫密度と予察灯における誘殺数との関係

過去10年の調査結果から、越冬成虫密度が高い年は5月から6月までの果樹カメムシ類発生量の目安となる予察灯における越冬成虫の誘殺数が多くなる傾向があります（図2）。

3 平成28年の飛来数予測

今年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果から、越冬成虫の発生量は平成18年、20年、24年並にやや多く、6月末までの果樹カメムシ類の果樹園への飛来数はやや多いと予測します。

表 平成28年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度（頭/m²）

調査年	調査地点															全地点 の平均	発生確認 の地点割合	
	幸田町			新城市			豊橋市					豊川市						
	須美 北山	須美 北山	須美 山東	大海	市川	中宇利	稲木	嵩山	石巻 中山	石巻 萩平	石巻 平野	小野田	平尾	千両	足山田	金沢		
平成28年	0.3	0.0		5.0	1.0	2.7	0.3	0.7	0.0	1.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.9	67%
平年	0.6	0.3		3.3	1.2	4.1	0.9	0.5	0.0	0.3	2.3	1.3	0.2	0.4	0.6	1.0	1.1	46%

平年：平成18年から平成27年の平均



図1 チャバネアオカメムシ成虫

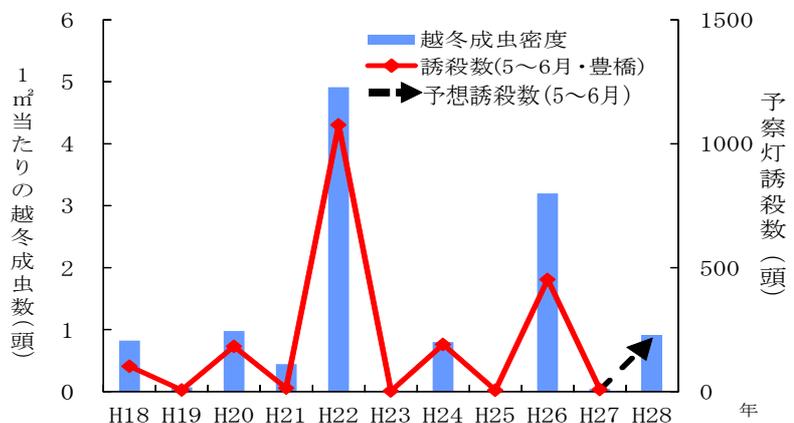


図2 チャバネアオカメムシの平均越冬成虫密度と予察灯における越冬成虫誘殺数（豊橋市）